



TOPIC

With



明治学院大学の授業の一環で行われたオンラインカレーワークショップの様子

人数が少なく、外部との交流も容易ではない今年度のアジア学院コミュニティ。ここでは「一緒に何かをすること」の価値が却って今まで以上に大きくなっています。何とかして人間らしいつながりを保ちたいという願いから日々発見される、新たな「With」を特集します。

オンラインカレーワークショップで

感じた「With」

山下崇（募金・国内事業課）

元 国連難民高等弁務官の緒方貞子さんは、「国際貢献は『なにかしてあげる』という施しではなく当事者意識を持ち自分事として責任分担をすること」と語っている。緒方さんと同じく聖心女子大学を卒業し、現在アジア学院の学生で、将来国際協力の分野で働くことを志す岡田英里さんはアジア学院での学びと気づきをこのように話してくれた。「大事なことは『Working for people（人々のために働く）』より『Working with people』（人々と共に働く）』ではないか。何かをしてあげるではなく、一緒にいること。For から With へ」

9月21日～23日の3日間、緒方貞子さん、岡田さんの後輩である聖心女子大学の学生15人が、アジア学院の柱の一つであるサーバンントリーダーシップ（人に仕える指導者像）

をテーマにしたオンラインキャンプに参加した。私にとって初のオンラインキャンプということで、企画するにあたり多くのチャレンジャーや問いに直面した。オンラインでもできることってなんだろう？オンラインだからできることってあるだろうか？いや、そもそもパワーポイントも満足に使えない私にパソコンの画面のみでサーバンントリーダーシップの大切さなんて伝えることはできるのだろうか？

前日の真夜中まで悪戦苦闘した。そしてついに多くの人の協力によってその問いの答えを導き出すことができた。

その象徴的な答えはオンラインカレーワークショップだった。アジア学院で作った農産物（豚肉、野菜、米）とインド産スパイスを事前に参加者宅に送り、インド人スタッフと一緒に



新しいWith やってみた!

お客様を呼べない、人数が少ない、海外からの学生がほとんどいない。そんな状況だからこそやってみた、「With」な取り組みを紹介します。

新しい
With
やってみた!

学生に聞きました!



松井 潤
(2021年度 学生)

従来の方法とは異なる実施に戸惑いもありましたが、「進もう。感謝と共に」を実現するため準備を進めてきました。HTCを通して、食べ物に対する理解をさらに深めると共に、感謝の気持ちをより強く持つことができました。

今年度のテーマは「Persevering with Appreciation (進もう。感謝と共に)」。

Perseveringは「屈せずやり通す」という意味。コロナ禍の中で屈することなく、感謝をもって前に進んでいくという思いがこめられました。正にそのテーマのまま、インターネットや動画編集、デザインなど様々な困難を乗り越え、実施にこぎつけました。誰も経験がない手探りの状況の中でリーダーシップをとることは簡単ではありませんでしたが、最後までやり通した学生たちは、少し自信をつけたような笑顔をしていました。

(副校長・教務主任 大柳由紀子)

第49回収穫感謝の日 (HTC) オンライン開催

視聴者に聞きました! 海外から

ステイシー・リーさん (アメリカ在住サポーター)

新旧様々のボランティアやスタッフの姿がとても懐かしかったです。寸劇やパフォーマンスを見て心から笑顔になり、楽しかった思い出が呼び起こされました。もちろん会場で楽しむのが一番ですが、素晴らしい次善策でした。

視聴者に聞きました! 国内から

金 宣希さん (学生キリスト教友愛会)

SCF (学生キリスト教友愛会) の仲間たちと参加しました。テーブルにはアジア学院から送られた沢山の野菜。画面の向こうで聞こえるテーマソング。日々の疲れの中、アジア学院の豊かさに包まれリフレッシュされた1日でした。

新しい
With
やってみた!



全員参加の畑作業

元々全員で行っている朝夕の作業に加え、昼の就業時間にも学生、ボランティア、職員皆で自分たちが食べる食料のために汗を流しました。真夏には朝4時半から除草作業をしたことも。収穫の秋、共に食べる喜びを分かちあっています。

(フードライフ 櫻井将伸)

新しい
With
やってみた!



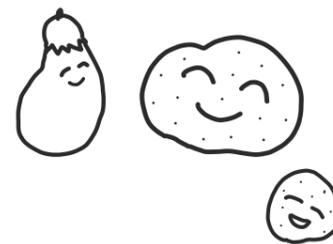
卒業生による朝の集い

例年は学生の文化的多様性によってもたらされる霊的な豊かさを確保するため、月に一度、世界各地の卒業生による朝の集いを始めました。テクノロジーが霊的成長に役立つ一方、コミュニティにおけるテクノロジーの存在意義を再考させられています。

(共同体生活 ジョナサン・マッカーリー)



参加者宅に送付されるカレーワークショップセット



にオンラインでスパイスカレーを作るという試みだ。

学生たちは届いた箱を開けると、確かに私たちが育てた土のついたじゃがいも、肉と米を見て、一気にテンションが上がったと喜んで。オンラインカレーワークショップは大成功だった。

「カレーワークショップが私たちの学びをさらに深める体験になりました。同じ時間、味をみんなと共有した体験は、コロナ禍においてかけがえのない貴重なものになりました。」(参加した学生)

多くの学生は実家で暮らしており、あまり料理には自信がなかったが、各々がインドのスパイスを使って見事においしいカレーを作った。そしてそのカレーは家族や友だちにも振る舞われた。オンラインでも食べものといのちを感じながら、「一緒に作り、一緒に食べることをやり遂げることができた。この時、施しの「FOR」ではなく自分のため、家族のため、そしてそれを一緒に楽しむ「With」があり、そこには十分な笑顔があふれていた。



日帰りプログラム報告

With
ビジター



(写真上) 親子向けキャンパスツアー
(写真下) Organic Farming 講座で『ほかし肥』の作り方を学ぶ受講生

昨年に引き続き今年も、新型コロナウイルスの影響でビジターの受け入れが難しくなっていました。そんな中、コロナ対策を踏まえうえでアジア学院が学びの場として出来ることは何だろうかと考え、アジア学院の有機農業を学べる「Organic Farming 講座(全4回)」と親子向けのキャンパスツアー「いのちってなんだろう?」を日帰りで開催しました。オンラインでのつながりが増えた今だからこそ、五感を使った経験や、一緒に食べることを、学ぶことの重要性を改めて感じました。何より、参加してくださった方々の笑顔に出会えたことが一番の喜びです。



中山 紀子
募金・国内事業課



第50回の創立記念日

オンライン開催によりたくさんの卒業生や支援者が海外からも参加



荒川 朋子
校長

アジア学院では自分自身について多くを学び、強く成長し、コミュニティでの生活の美しさや難しさを知りました。ここでは沢山の多様な人々に出会いました。起きてから寝るまでを共に過ごしたことで人の様々な面を見ることができ、それによって人をより理解し、より愛することができました。元々一人で過ごすことが好きでしたが、ここでの経験を通してコミュニティに居場所を感じました。

アジア学院では設立発起人会が開催された1972年9月16日を創立記念日と定め、毎年この日に記念礼拝を行うとともに、創立当初のアジア学院に関わっていた方を招いて当時のお話を伺う機会を持っています。今年には記念すべき第50回を迎え、コロナ禍の状況を逆手にとってオンライン開催とし、広く支援者や卒業生にも参加を呼び掛けました。

第1部の記念礼拝では、冒頭に1976年に収録されたNHKテレビの「英会話III」に出演した高見敏弘氏(当時校長・理事長)の映像を流しました。映像の中には進行役がアジア学院を訪ねて学生にインタビューする場面もあり、当時の学院の様子を知ることができました。高見氏が話している姿を初めて見たというメンバーも少なくありませんでした。また、設立発起人の一人であるウォルター・シヨア氏(アメリカ人宣教師)が書いた「The Beginning of ARI」(「アジア学院の始まり」)を紹介し、当時準備のない中、信仰に導かれた人たちの勇気と行動力によって、またその人たちが支えた地域の理解者の惜しみない協力によってアジア学院が誕生したことを説明しました。この「The



Beginning of ARI」は、アジア学院10周年の際にシヨア氏自身によってアジア学院に寄贈されていたのですが、その後紛失しており、シヨア氏の息子さんとお孫さんが推敲したものが電子化され、昨春秋に学院に送られてきたという経緯がありました。

第2部はマラウイ、カメルーン、スリランカ、カンボジア、エクアドルの5名の卒業生とオンラインでつなぎ、各国のコロナ禍の現状を聞きました。それぞれの卒業生が厳しい状況の中にあっても、献身的に活動していることが詳しく伝えられました。最後はコロナ禍で苦しむ人々への祈りを共に捧げ、記念日のプログラムを終えました。



共同生活の
美しさ
難しさ
を知りました

アメリカ

Emily
エミリー・ボーデル

国際関係部門、学生募集部門
プレザレン・ボランティア・サービス

アジア学院では自分自身について多くを学び、強く成長し、コミュニティでの生活の美しさや難しさを知りました。ここでは沢山の多様な人々に出会いました。起きてから寝るまでを共に過ごしたことで人の様々な面を見ることができ、それによって人をより理解し、より愛することができました。元々一人で過ごすことが好きでしたが、ここでの経験を通してコミュニティに居場所を感じました。

ヤギを追いかけてたりシャベルを使って肥料を作ったり、家畜にニックネームを付けたことも良い思い出です。家族から離れて、言葉が話せない国に住むのは大変なことでしたが、人生で最も美しい経験のひとつになりました。アジア学院で出会った人や経験を決して忘れません。



Confusion
な環境!
他にはない
学びです

日本

Ken
荒谷 賢

野菜・作物部門
愛農学園農業高校専攻科修了

日々の生活で僕が学んだことは「confusion (混乱)」な環境の良さです。僕にとって confusion な環境とは「それぞれが周りの人に合わせることに重きを置いていないことから起こる困惑した状態」です。一般社会ではなるべくこれを避けることに重点が置かれていますが、アジア学院には様々な背景を持つ人が集まることから暗黙の了解が少なく、また生活を共にしているため、confusion がしばしば起こります。意思疎通が上手くいかないことや、話し合いで意見がまとまらないこともあります。このような環境だからこそ、人との違いから学びを得たり日々を充実させることができると思います。

残り5か月のアジア学院生活では、自分自身もより積極的に confusion を起こし、成長していきたいです。

VOICE

アジア学院
の住民たち

アジア学院が前に進んでいくために欠かせない長期ボランティア。11月中旬で任期を終えて帰国するエミリーさん、任期の折り返し地点を過ぎた賢さんに、今までのボランティア生活で得たものを聞きました。



3ヶ月~12ヶ月 /

長期滞在ボランティア

大募集中!!

アジア学院の多文化コミュニティの中で
共に暮らし、働いてみませんか?

休学や留学、オンライン授業以外の時間の使い方などで悩んでいる学生の方や、退職後の社会貢献の場を探されている方など、ご相談ください。
お問い合わせ先: info@ari-edu.org (担当: 佐藤)



詳しくはHPをご覧ください

ご支援に感謝いたします

With you

2021年8月1日～9月30日（敬称略・順不同）

サポーター寄付 一般寄付 寄付者御芳名

【北海道】沖本憲行 久世礼子 宿田成宏 栗沢あおぞら農園(公)平取聖公会【青森県】木村幸子【岩手県】浅利友重・志津子 渡辺利彦【福島県】大島正太郎 佐川真理子【茨城県】岩田朗 島崎小乙里 成島良幸 横川浩・昭子・容子 渡部敬男(教)茨城地区女性部【栃木県】荒川朋子 飯島恵子 飯塚仁美 植竹伸一 大浦智子 大谷雅代 大柳由紀子 金子光雄・榮子 川崎圭子 菊地創・ふじ 吉川宗芳 木村裕子 郷かしこ 坂入貴子 櫻井将伸 高橋有実 田中淳子 長嶋清 長瀬美香 丹羽寿美 丹羽芳雄 林真智子 羽山信輝 原田三恵子 潘炯旭 福本光夫 藤沼哲夫 古内辰子 又木成美 松本辰美 三宅隆史 武藤仁志 村田榮 森川有理(公)宇都宮聖ヨハネ教会 小山聖泉キリスト教会 河内キリスト集会(特活)キッズシェルター(学)さつき幼稚園 那須塩原市国際交流協会(有)那須福祉サービス(教)西那須野教会 藤沼会計事務所 赤羽正美【群馬県】植原映子 佐藤たへ子 長谷川千恵【埼玉県】浮貝由美 金子宗郎 柳澤幸雄 川上千住子 川口景子 武真人 千村雅信 戸井田紗耶香 遠間紘子 細川武 柳澤芳信【千葉県】石崎利夫 海老澤浩 太田賢 大谷光弘 齊藤祐子 佐久間健 佐藤伊一郎 佐藤豊美 箱崎洋子 林正弘・栄恵 向井田通子 矢口敏和・愛子 安みきわ 山崎尚子 山本栄子 八街グレイス教会【東京都】阿部哲夫 飯高京子 伊藤毅史 井上愛 岩切勉 鶴岡栄子 鶴崎創 梅澤やよひ 大野綾子 鹿島正安 加藤美玲 神谷幸男 柄澤真理子 吉川久美子 久世陽子 黒田俊一 後藤政美 小林元子 佐藤太郎 高島敦子 高野美恵子 高橋久光 高橋美雪 中山善和 賛川治樹 濱田和宏 坂内和典 平岡昭子 広澤敏明 向山功 森哲也 渡辺真理子(教)牛込弘方町教会(教)代田教会 日本キリスト教協議会(パ同)日本バプテスト同盟 全国女性会【神奈川県】安積力也 天野潤 荒井明子 石田伊志子 今川信夫 今田多恵 岩澤裕基 岩谷幸子 梅澤昌子 加山久夫 川上静子 進宏一 杉山君枝 関根ゆかり 中本尚孝 橋本恵市 春山顕児 福井敏之 本田忠行 松木強・優子 山田早苗 吉田昌夫(パ同)捜真バプテスト教会女性会【新潟県】荒井真理 萩原正次【富山県】碓井道子 安井薫子【石川県】喜田妙子【長野県】青木栄作 由井和也【岐阜県】三輪恵愛【静岡県】武井陽一 星野正興 山下清二 山中忍【愛知県】荒川勉【滋賀県】太田宜子【京都府】上田祐未 櫻井鋭子【大阪府】安達晴子 大本和子 川俣茂 陳野友洋 高見信彦 田中真 西原浩【兵庫県】貝元利江 黒田喜久子 関口順 中道澄春 森川正美 山本愛子【島根県】(教)隠岐教会【岡山県】山口敦史【福岡県】中島菜々子【佐賀県】英語教室 MOTO【大分県】鶴丹谷公代【鹿児島県】大谷ともよ【沖縄県】大森節子 小笠原春野 増田陽一【海外】UnitedMethodistCommittee EvangelischeMissionSolidaritaet

書き損じハガキ 寄付者御芳名

【宮城県】今野裕美子 千葉直美【山形県】秋津ミチ子 草岡ハム加工組合【福島県】元清洋品店【栃木県】石崎登志子 遠藤央 大浦智子 久留生利美 杉田万由子 館脇義人 塚本美砂子 堀内紀江 室井正子 柳田節子 横山孝子(教)氏家教会 臥龍会(株)小堀建設【埼玉県】久保島理恵 福島道子 細川武【千葉県】竹内智子 中村敦子 中村ミカ子 南光望 千葉友の会【東京都】伊藤節子 稲垣恒子 小鴨迷夫 小見寿 門脇英晴 木村はるみ 栗山のぞみ 田代洋子 田中彰 丸本和子 山下直子 山根正彦【神奈川県】玉井ひろみ 鶴嶋那津子 山田早苗(特活)WE21 ジャパン こうはく【新潟県】森民男【石川県】喜田妙子【愛知県】岡本康男 深谷ひろみ 松本知恵【滋賀県】大津友の会【大阪府】相原正温【兵庫県】垂井美子(教)宝塚教会【長崎県】小柳秀子

一品寄付 寄付者御芳名

【岩手県】渡圭菜子・健太郎【山形県】原田俊二・加矢乃【茨城県】目黒歯科医院【栃木県】磯幸一 内田尚久 菊地洋子 郡いづく JagoJay 清水益夫 武田誠 中里俊章 三宅隆史 室井正子 柳田節子 マ・メソソ光星【千葉県】平野幸男【東京都】栗山のぞみ【神奈川県】岡田良仁・裕美 西村由子

(医) 医療法人(医社) 医療法人社団(学) 学校法人(カ) カトリック(株) 株式会社(教) 日本基督教団(キ) 日本キリスト教会(公) 日本聖公会(公財) 公益財団法人(公社) 公益社団法人(財) 財団法人(社) 社団法人(宗) 宗教法人(特活) 特定非営利活動法人(パ同) 日本バプテスト同盟(福ル) 日本福音ルーテル教会(有) 有限会社

寄付金 実績状況	8月	1,602,879 円
	9月	1,639,903 円
	合計	3,242,782 円

寄付金領収書について
口座振替・クレジットカードでご寄付頂いた場合、所得税法により領収書の発行及び領収日は、アジア学院に入金された日とさせていただきます。

全国友の会と共に歩んだ半世紀

SUPPORTER'S PAGE



友の会の方々による授業



「収穫感謝の日」で手作り菓子を売る那須友の会の皆さん

いつまでも支援と交流を続けたい



岩谷 幸子さん
全国友の会中央部中央委員
アジア学院評議員

全国友の会は、女性の力を生かし合って家庭からよい社会をつくろうと歩み続け、昨年90周年を迎えました。アジア学院への献金は1981年から続き、2011年からは毎年、友の会国際交流の会が中心となり、10数人で訪問し交流、授業をさせていただきました。「主婦が外で活動できるのはなぜ?」「女性が家計を管理できるの?」「私の地域の女性は読み書きができないけどどうしたらいい?」などの質問に、もっと視野を広げ互いに理解を深めたいと思いました。英語版の家計簿シートでワークショップをした時は、「これはいい。帰ったらみんなに薦めたい」「友の会のようなグループを作ろうと思う」などの感想もありました。これからも友の会で取り組んでいる「子どもの笑顔があふれる社会に」「生活の中の環境問題」「生命を育む食と農」などをアジア学院の皆さんと共に語り合い、学ぶ機会を頂きたいと思います。

With 友の会

長年のご支援に感謝



佐久間 郁・ヴェロ
アジア学院 事務局長

子育て世代に寄り添い、生活や環境を大切に、地域に根差しながら活動されている全国友の会。70年代後半には洋裁や機織りを学びたいというインドからの学生に研修の機会を提供して下さったと聞いています。自由学園那須農場がアジア学院の近くにあり、酪農を教えてくださいました。地元的那須友の会の皆様には、ニュースレターの発送や収穫感謝の日の準備、寮の枕カバーの作製、学院の豚肉を使った紅茶豚作り等、私たちのお母さんの存在として様々な場面で助けていただきました。今年9月下旬には全国友の会の代表者の方々とオンラインでのミーティングが行われ、意見の交換が行われました。コロナ下で身動きがとれないと嘆くのではなく、「今だからこそ発信し、協働できることがあるのでは?」「アジア・アフリカの農村地域のお母さんと日本のお母さんの接点になれないか?」「親子での食育の機会を作り出せないか?」「野菜栽培セットの販売、エコ自慢大会なんてどう?」等々。「With 友の会」の新たな模索が始まっています。

2021クリスマス特別献金のお願い

2021年も世界中で様々な出来事がありました。長引くコロナ禍や世界各地での政治的混乱に多くの方が苦しみました。悲しみが、しかし喜びもありました。

アジア学院においても、海外からの入学予定者がいずれも渡航できないという初めての事態の中、4名の学生、そして多くのボランティアを与えられ、一步一步を進んでまいりました。

その1年もあと少しで終わりを迎えようとしています。

この時期皆様をお願いをするクリスマス献金は、人々のために働くことを願う草の根のリーダーを今後も迎え入れ、「仕えるリーダー」として育成するための重要な財源となります。学生となるリーダーたちは、貧困や環境問題のほか、コロナ禍や紛争による大きな困難に立ち向かわなければなりません。アジア学院での学びは、困難や混乱の時にこそ発揮され、愛に基づくリーダーシップは地域や人々を必ず良い方向に導いてくれるものと信じています。どうかアジア学院の活動に皆様の願いと希望を託してください。

クリスマスの喜びが皆様の上にありますように。

理事長 星野正興、校長 荒川 朋子

アジア学院太陽光発電レポート

2021年8~9月の発電量 

3,007 kWh

CO₂排出削減量 **1,355** kg-CO₂

成木: 97本
石油: 683ℓ
相当

2020年10月以降の累積発電量

18,800 kWh

CO₂排出累積削減量 **8,469** kg-CO₂

めざそう!
低炭素社会

ミャンマー緊急募金

前号で呼びかけました、ミャンマー市民の過酷な状況を覚えての募金を12月20日まで受け付けております。現地の人々のために必要とされる活動を行っている卒業生にしっかりと届けます。皆様の思いをぜひ託してください。

10月15日時点の募金額 **1,246,000** 円

ご協力に心より感謝申し上げます。

ミャンマー緊急募金専用口座 (期間: 2021年12月20日まで)

受付中

銀行名: 足利銀行西那須野支店
口座番号: 2962221
口座名義: 学校法人アジア学院

※寄付控除は受けられません。
※領収書をご希望の方はご連絡ください。

第49回 卒業式

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のため、本年度の卒業式も非公開で行います。当日の様子をアジア学院のFacebookページ等にてライブ配信いたしますので、ぜひご視聴ください。

【日時】 **12月11日(土) 11:00~12:30**

アクセス <https://www.facebook.com/Asian.Rural.Institute/>
ホームページ、SNSにてその他のアクセス方法も随時お知らせいたします。



昨年の卒業式の様子

2022年度 日本人学生募集

募集期間 1次募集 10/1~12/20 2次募集 1/4~3/1



近年多発する自然災害やコロナ禍を経て、命や環境を守り育むことを学びたいという声が高まっています。

アジア学院は、地域そして世界の人々と手を携えて、自然環境と調和し、平和を作り上げながら「共に生きていく」上で必要な学びを、総合的に体得できるユニークな学校です。



平和をもたらすリーダーシップ



持続可能な農業の技術



多様性の中での自己変容

お申し込み方法・その他詳しくはHP、SNSをチェックしてください!

オープンキャンパス開催!

アジア学院に、来て、見て、体験してみよう!
お昼はアジア学院産の美味しいオーガニックランチ付き♪
この機会にぜひお越しください!

WED. 11/24 SAT. 11/27 SAT. 12/18

【参加費】お一人様 1,000円 (昼食代込)

当日のスケジュール
10:30 集合
11:00 キャンパスツアー
12:30 昼食
13:30 体験授業
15:30 Q&A
16:00 解散